

## 見守り 新鮮情報

同じ**染毛剤**を使ってすでに2回毛染めをしている。自宅で**3度目**に使用

したところ、目が開かないほど**顔面が腫れ**、1週間**仕事を休んだ**。メーカーに相談すると、**セルフテスト**をしたかと聞かれたが、**説明書**の字が**小さく**て内容を判読できなかった。(60歳代 男性)



# 染毛剤による 皮膚炎が起きています

## ひとこと助言

セルフテストは  
大切だよ



見守るくん

- ヘアカラーリング剤のうち、医薬部外品である酸化染毛剤(ヘアカラー、ヘアダイ、白髪染め等と呼ばれる)は、その主成分でアレルギー性の皮膚炎を起こしやすいことが知られています。
- 軽微なかゆみや痛みを無視して、毛染めを続けるうちに、重篤な症状が現れることもあります。染毛剤を使用する際には必ず毎回、事前にセルフテスト(商品には「皮膚アレルギー試験(パッチテスト)」と記載)を行うことが大切です。
- これまで染毛剤を使用して異常を感じたことのない人でも、突然アレルギーを起こすことがあります。異常を感じた場合は、すぐに使用をやめ、医療機関を受診しましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第237号(2015年11月26日)発行：独立行政法人国民生活センター

お気軽にご相談ください！

八代市消費生活センター 電話：33-4162  
(八代市役所1階市民相談室内)